

令和元年度 知事直轄組織（知事室長） 重点目標

	重点事項	成果目標（注）
1	<p>【効果的な広報・広聴】</p> <p>京都府の内外へ、効果的な情報発信を進めます。</p>	<p>① 府民の視点に立った広報・広聴を行い、府政への理解を深めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・府民が必要とする情報を「府民だより」やテレビ・ラジオ、SNS で発信します。 ・知事自らの広聴事業を通じて、現地現場の府民の声を幅広く集め、施策に活かします。 ・外部専門家の活用やPR 会社との連携により、京都府の情報発信力を高めます。 <p>② 府域の情報を関西及び全国に発信し、京都府ブランドのさらなる向上を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メディア向けの市町村地域情報データベース「地域情報ファクトブックシステム」への情報集約と、その情報を活用した京都府ファン情報交流サイト「KYOTOSIDE」での情報発信を充実させます。 ・「もうひとつの京都」の深度化に合わせ、文化観光等を切り口とした情報発信に努めます。
2	<p>【国際交流の推進】</p> <p>経済、観光、青少年、文化など多様な分野で、友好提携州省をはじめ海外との国際交流を積極的に進め、「世界交流首都・京都」の実現に貢献します。</p>	<p>① 友好提携25周年を迎えるロシア連邦レニングラード州との間で、文化芸術や職業技術など幅広い分野で交流し、相互理解を深めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レニングラード州と連携し、文化芸術分野で記念事業を実施 ・レニングラード州に職業技術訓練生等を派遣し、現地の訓練校との交流事業を実施 <参加生徒等 10 名> <p>② 中国陝西省との間で、相互に青少年を派遣し、両地域の将来を担う青少年の異文化理解力の向上や相互交流を進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・府内の高校生を陝西省に派遣し、異文化体験や現地高校生との交流事業を実施<参加生徒 10 名> ・陝西省の高校生を受け入れ、京都文化の体験や府内高校生との交流事業を実施<受入生徒 10 名>

（注）目指すべき成果目標を記載する。その際、数値目標を設定することが適当な場合は、数値目標を記載する。

令和元年度 知事直轄組織（知事室長） 重点目標

	重点事項	成果目標（注）
		<p>③ ベトナム社会主義共和国トゥア・ティエン・フエ省との間で、交流協定に基づき、観光分野での国際協力事業や京都へのインバウンドの促進を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フエ省が官民協働で観光振興に取り組んでいけるよう、仕組みづくりや新規ツアー開発等を支援 ・現地での支援活動の機会に、京都府の魅力を発信し、京都へのインバウンドを促進
3	<p>【留学生誘致・支援の推進】</p> <p>留学生スタディ京都ネットワークを中心に、大学、企業、関係団体などオール京都で留学生の誘致から就職までを総合的に支援します。</p>	<p>① 「留学先・学びのまち」京都を強力に発信します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外での留学生誘致活動等の着実な展開 ・首都圏の日本語教育機関からの誘致など、新たなルート開拓 <府内の留学生数：10,000人（H30 9,568人）> <p>② 留学生の府内就労を促進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップの実施による留学生と企業の相互理解の促進 ・ビジネス場面で必要とされる日本語能力の養成研修を実施 ・「留学生ジョブ博」等の実施による就職支援 <府内就労した留学生数：781人（H29 657人）>
4	<p>【多文化共生の推進】</p> <p>在住外国人の生活環境の整備を図り、暮らしやすい社会づくりを進めます。</p>	<p>① 外国人が京都でいきいきと活躍できるよう、生活面でしっかりサポートします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新設する外国人総合相談窓口で生活に関わる様々な情報提供や相談を実施 <p>② 地域ごとの課題とニーズに応じた日本語教育やさまざまな取組により多文化共生の実現を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・府内における日本語教育の総合的な体制づくりの推進 ・外国籍府民が安心して生活できるよう幅広く課題を抽出し、その解決に向けた取組を推進

（注）目指すべき成果目標を記載する。その際、数値目標を設定することが適当な場合は、数値目標を記載する。